

理学療法学科の学び

現在の医療は多職種との連携が必要で、その連携の強固さがリハビリテーションの充実とも言えます。その事を当校では1年生の講義より実践しており、リハビリ概論等で作業療法の先生に講義してもらったり、看護学科の先生の講義があったりします。当然医師の講義も2年生に多く設定されており、3年生では臨床心理士の先生の講義も用意されております。

その様な環境で学んだ当校の卒業生は、現場で大いに活躍しており各施設での重要な立場を担っております。学生の皆さんも当校で多職種との連携や必要性を感じ、そして学ぶことにより現代の医療人としての資質を高めて欲しいと思っております。

以下は、理学療法学科の教員や学生の様々な表情を写した写真です。



図1. 学内実習中の教員（左側から北村、菊川、吉田、小橋の各教員）。凛とした感じが伝わってきます。



図2. 授業を担当する教員（左上：近藤教員、下：富永教員）及び図書館で勉強中の4年生（右上）。近藤教員の念力、よく効いています。富永教員の授業：ポイントがわかりやすいとの学生コメントがありました。



図3. 実習や演習中の学生さんの様子。集中力が伝わってきます。



図4. ピースサインの学年比較。：北村教員（左下中央）のサインは自然ですね。



図5. 横になってリラックスする学生さん。疲れからの回復にはところ構わぬ休息は何よりです。